

# 平成28年度 決算説明資料

平成29年10月4日  
観光文化交流局

# 目 次

	頁
1 観光文化交流費の主な不用額	1
2 名古屋の主な観光資源	2
3 五大市の観光入込客数	3
4 観光客誘致にかかる主な施策	4
5 修学旅行誘致施策	5
6 なごや観光ルートバスの運行	7
7 (公財) 名古屋観光コンベンションビューローへの支出額の内訳	9
8 国際交流課の組織と事業	10
9 市内外国人宿泊者数の推移	12
10 中部国際空港における国・地域別入国外国人数	13
11 (公財) 名古屋観光コンベンションビューローにおける インターネットでの海外向け情報発信	14
12 中部国際空港及び県営名古屋空港にかかる各団体への 負担金及び分担金	15
13 中部国際空港の目標値及び利用状況の推移	16
14 平成27年の分野別の国際会議開催件数	17
15 国際会議場の主な施設の利用率及び利用人数	18
16 国際会議場の他都市類似施設の概要及び利用人数	19
17 国際会議場の整備にかかる主な課題及び課題への対応	20
18 国際会議場屋根付歩廊整備における課題	20
19 芸術文化団体への活動助成	21
20 芸術創造センター及び青少年文化センター練習室の利用率	22
21 文化小劇場の利用率	23
22 市民ギャラリー矢田の利用率	24
23 能楽堂舞台の種目別利用状況	25
24 名古屋城の管理運営にかかる経費及び収入の推移	26

1 観光文化交流費の主な不用額

事 項	予算現額	支出済額	不用額	執行率
	円	円	円	%
国際展示場の運営	664,757,000	490,487,738 繰越明許費 34,560,000	139,709,262	77.8
名古屋国際センターの 運営・整備	755,348,000	673,292,818	82,055,182	89.1
文化施設等の応急保全 工事	258,980,000	188,390,340	70,589,660	72.7
名古屋城の運営管理	405,476,200	360,171,552	45,304,648	88.8
文化施設の天井等落下 防止対策調査	65,200,000	23,328,000	41,872,000	35.8

注 不用額の上位5事項

## 2 名古屋の主な観光資源

区 分	主な観光資源
観光施設	名古屋城 オアシス21 熱田神宮 東山動植物園 名古屋港水族館 リニア・鉄道館 トヨタ産業技術記念館 ノリタケの森 名古屋テレビ塔 徳川園 LEGOLAND® JAPAN
歴史・文化	四間道 文化のみち 有松の町並み、有松・鳴海絞り 桶狭間 三英傑（信長・秀吉・家康） 山車 コスプレ・アニメ
飲食・買物	なごやめし 栄（百貨店、地下街等） 名古屋駅（百貨店、地下街等） 大須
イベント等	世界コスプレサミット にっぽんど真ん中祭り 名古屋まつり マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

### 3 五大市の観光入込客数

#### (1) 宿泊者数

(単位：万人)

区 分	平成26年度	平成27年度
横 浜 市	489	512
京 都 市	1,341	1,362
神 戸 市	508	529
本 市	586	653

注1 大阪市は非公表

2 横浜市、京都市及び神戸市は暦年

#### (2) 日帰り客数

(単位：万人)

区 分	平成26年度	平成27年度
横 浜 市	2,963	3,249
京 都 市	4,223	4,322
神 戸 市	3,035	3,069
本 市	3,379	3,678

注1 大阪市は非公表

2 横浜市、京都市及び神戸市は暦年

#### 4 観光客誘致にかかる主な施策

区分	主な施策	
国内	観光プロモーションの推進	<p>歴史文化、モノづくり、なごやめしなどの名古屋の魅力在全国に発信するため、県との連携の下、市長・知事をトップとする観光プロモーションを東京・大阪において展開したほか、物産展等を活用した観光PRを全国各地で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知・名古屋観光プロモーション 2都市 3回（東京、大阪）</li> <li>・名古屋観光プロモーション等 9都市10回（札幌、仙台、前橋、東京、浜松、桑名、大阪、福岡、熊本）</li> </ul>
国外	外国人観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾・ベトナムでの海外観光レップを活用したプロモーション活動を実施</li> <li>・台湾ランタンフェスティバルに出展し、プロモーションを実施</li> </ul>
	広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋を基点とした周遊性を高めるための昇龍道などの広域連携によるプロモーションを実施</li> </ul>
共通	インターネットでの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋観光コンベンションビューローのウェブサイト及びフェイスブック等において、国内外に情報発信</li> </ul>

## 5 修学旅行誘致施策

### (1) 修学旅行・体験学習優待割引券の作成及び配布

(公財) 名古屋観光コンベンションビューローが、観光施設の入場料等を割引する「修学旅行・体験学習優待割引券」を4,000部作成し、本市に宿泊した修学旅行生に配布するとともに、遠足や校外学習用として旅行会社・学校等に配布

### (2) あいち教育旅行誘致促進協議会の施策

区 分	内 容								
目 的	愛知・名古屋へ修学旅行等を誘致するための調査・研究、宣伝活動を行う								
構成団体	名古屋市、愛知県、(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、(一社)愛知県観光協会等23団体								
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行受入事業(旅行会社への補助金制度) 松本市内の小学校1校166名 10万円  <table style="margin-left: 20px; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">児童または生徒及び引率教員1人につき</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">  会員旅行会社</td> <td style="padding: 5px;">1,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">  非会員旅行会社</td> <td style="padding: 5px;">500円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">※1校につき10万円を上限</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>・島根県、沖縄県への学校等及び旅行会社誘致宣伝事業</li> <li>・情報提供事業(ガイドブック、ウェブサイト等による)</li> </ul>	児童または生徒及び引率教員1人につき		会員旅行会社	1,000円	非会員旅行会社	500円	※1校につき10万円を上限	
児童または生徒及び引率教員1人につき									
会員旅行会社	1,000円								
非会員旅行会社	500円								
※1校につき10万円を上限									

(3) 修学旅行における市内宿泊者数の推移

区 分		平成27年度	平成28年度
小学校	件数	37件	28件
	人数	1,563人	1,584人
中学校	件数	28件	16件
	人数	1,308人	1,041人
高等学校	件数	27件	18件
	人数	1,308人	867人
その他	件数	24件	45件
	人数	1,364人	1,697人
計	件数	116件	107件
	人数	5,543人	5,189人

注1 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」の調査結果による

2 平成28年度は暫定値

(4) 修学旅行における市内宿泊者数の多い都道府県

平成27年度	平成28年度
京都府 (1,478人)	京都府 (1,693人)
東京都 (559人)	大阪府 (482人)
神奈川県 (558人)	北海道 (320人)

注1 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」の調査結果による

2 平成28年度は暫定値



6 なごや観光ルートバスの運行

(1) 月別の利用者数の推移

(単位：人)

区 分		平成27年度	平成28年度
4月	平 日	16,517	15,764
	土日休日	15,327	20,442
5月	平 日	11,169	11,293
	土日休日	25,714	26,074
6月	平 日	11,049	13,452
	土日休日	13,193	14,434
7月	平 日	12,476	12,293
	土日休日	15,123	19,670
8月	平 日	16,538	18,986
	土日休日	20,857	18,549
9月	平 日	11,712	12,365
	土日休日	23,558	18,540
10月	平 日	15,460	13,520
	土日休日	17,798	19,714
11月	平 日	14,919	15,427
	土日休日	22,701	18,408
12月	平 日	11,529	9,407
	土日休日	11,618	12,982
1月	平 日	8,222	7,862
	土日休日	10,703	10,779
2月	平 日	11,834	10,796
	土日休日	13,828	12,179
3月	平 日	20,062	19,746
	土日休日	16,545	16,702
計	平 日	161,487	160,911
	土日休日	206,965	208,473
合 計		368,452	369,384

## (2) 他都市類似事業との比較

区 分	利用者数	ルート数	運行回数（一日あたり）
本 市	37万人	1ルート	平日 13回 土日休日 18回
仙台市	44万人	1ルート	平日 22回 土日休日 29回
新潟市	7万人	1ルート	平日 8回 土日休日 8回 夏季（7月25日～8月31日）13回 冬季（11月1日～3月31日）7回
横浜市	109万人 (平成27年度)	2ルート	みなとみらいルート 平日 9回 土日休日 10回
			中華街・元町ルート 平日 29回 土日休日 4.5回
静岡市	5万人	1ルート	平日 7回 土日休日 13回
神戸市	70万人	1ルート	平日 31回 土日休日 45回
熊本市	11万人	1ルート	平日 22回 土日休日 22回

## 7 (公財) 名古屋観光コンベンションビューローへの支出額の内訳

## (1) 補助金

(単位:円)

区 分	金 額
フィルムコミッション事業	368,914
大規模イベント事業助成	4,000,000
イベント事務費	123,539
観光客の誘致宣伝活動	175,064,483
歴史観光の推進	9,874,482
なごや観光ルートバスの運行	1,817,026
インバウンド誘致の強化	12,572,867
外国人観光客の誘致宣伝活動	32,171,494
MICE誘致の強化	611,311
国際会議開催助成	11,752,000
大会・会議等コンベンション誘致活動等	51,201,728
計	299,557,844

## (2) 委託料

(単位:円)

区 分	金 額
観光案内所の運営	83,714,000

## (3) 貸付金

(単位:円)

区 分	金 額
コンベンション開催準備資金の貸付	5,000,000

8 国際交流課の組織と事業

組 織	事 業
課長 1名	
推進係 6名	国際化企画調整 外国青年招致事業 なごや留学生フレンドシップ事業 国際交流活動助成 自治体国際化協会負担金 国際交流事業積立基金の積立 多文化共生施策の推進 第2次多文化共生推進プランの策定 名古屋国際センターの運営・整備 国際留学生会館の運営 渉外事務
主査（多言語情報発信等） 1名	渉外事務 名古屋市公館の運営
交流係 7名	姉妹友好都市交流の推進 インバウンド誘致の強化 海外観光プロモーションの推進 広域観光の推進 外国人観光客の誘致宣伝活動 無料公衆無線LAN環境の運営 外国人観光客誘致事務費 空港の利用促進 伊勢志摩サミット歓迎事業 名古屋市公館の運営
主幹（多文化共生・国際貢献） 1名	なごや留学生フレンドシップ事業 多文化共生施策の推進 第2次多文化共生推進プランの策定 名古屋国際センターの運営・整備 国際留学生会館の運営

組 織	事 業
主幹 (海外誘客・空港) 1名	
主査 (海外誘客) 1名	インバウンド誘致の強化 海外観光プロモーションの推進 広域観光の推進 外国人観光客の誘致宣伝活動 無料公衆無線LAN環境の運営 外国人観光客誘致事務費
主査 (空港) 1名	空港の利用促進

注 主査 (空港) 及び交流係技師1名は緑政土木局の兼務であり、観光文化交流局の予算定員には含まれない

## 9 市内外国人宿泊者数の推移

(単位：千人)

区分	平成26年度		平成27年度	
	国・地域	宿泊者数	国・地域	宿泊者数
1位	中国	149	中国	448
2位	台湾	108	台湾	177
3位	タイ	75	香港	112
4位	アメリカ	48	タイ	80
5位	韓国	48	韓国	64
6位	香港	47	アメリカ	37
7位	シンガポール	13	シンガポール	18
8位	インドネシア	10	ベトナム	17
9位	ベトナム	10	マレーシア	12
10位	マレーシア	9	オーストラリア	10
	総数	557	総数	1,019

注 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」による

10 中部国際空港における国・地域別入国外国人人数

(単位：千人)

区分	平成27年度		平成28年度	
	国・地域	入国者数	国・地域	入国者数
1位	中国	466	中国	520
2位	台湾	139	台湾	176
3位	韓国	125	韓国	120
4位	香港	107	香港	104
5位	タイ	54	フィリピン	65
6位	フィリピン	53	タイ	57
7位	ベトナム	25	ベトナム	33
8位	アメリカ	23	アメリカ	26
9位	ブラジル	15	ブラジル	17
10位	シンガポール	11	シンガポール	12
	総数	1,109	総数	1,223

注 法務省「出入国管理統計統計表」による

1.1 (公財) 名古屋観光コンベンションビューローにおけるインターネットでの海外向け情報発信

区 分	主 な 内 容	
NAGOYA-INFO (ウェブサイト)  (英語 中国語簡体字 中国語繁体字 韓国語 タイ語)	観光施設	名古屋城、名古屋テレビ塔、オアシス21、LEGOLAND®JAPAN、トヨタ産業技術記念館、徳川園
	飲 食	なごやめし(ひつまぶし、手羽先等)、飲食店一覧
	買 物	お土産(ういろう、有松絞り等)、買物施設一覧(百貨店、ショッピングモール、家電量販店等)
	宿 泊	エリア別市内宿泊施設一覧、予約サイトへのリンク
	交通アクセス	中部国際空港からの市内アクセス、市内・市外周辺観光マップ
	イベント情報	世界コスプレサミット、広小路夏祭り、大須大道町人祭、名古屋まつり、桜の開花情報、紅葉情報
	お役立ち情報	フリーWi-Fiスポット、両替所
Visit Nagoya (フェイスブック)  (英語 中国語繁体字 韓国語)	イベント情報	世界コスプレサミット、広小路夏祭り、大須大道町人祭、名古屋まつり、桜の開花情報、紅葉情報

注1 NAGOYA-INFO : 名古屋コンシェルジュ(日本語ウェブサイト)の一部を翻訳して情報発信

2 Visit Nagoya : 名古屋コンシェルジュ(日本語フェイスブック)の一部を翻訳して情報発信



1 2 中部国際空港及び県営名古屋空港にかかる各団体への負担金及び分担金

(単位：千円)

区 分	金 額
中部国際空港利用促進協議会	15,000
中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会	1,000
県営名古屋空港協議会	1,500
全国民間空港関係市町村協議会	15

### 1.3 中部国際空港の目標値及び利用状況の推移

#### (1) 開港当初の目標値

(単位：万人)

年 度	旅 客 数		
	国際線	国内線	合 計
平成18年度	530	670	1,200
平成21年度	610	720	1,330

注 中部国際空港株式会社「セントレアグループ中期経営戦略の策定について(2006-2009年度)」(平成18年5月)による

#### (2) 中部国際空港の利用状況の推移

(単位：万人)

年 度	旅 客 数		
	国際線	国内線	計
平成17年度	532	702	1,235
平成18年度	546	652	1,199
平成19年度	556	625	1,182
平成20年度	497	583	1,080
平成21年度	430	495	925
平成22年度	451	469	921
平成23年度	437	451	889
平成24年度	449	472	921
平成25年度	446	540	987
平成26年度	450	539	990
平成27年度	490	552	1,042
平成28年度	523	572	1,096

注 単位未満を切り捨てたため、計は一致しない場合がある

14 平成27年の分野別の国際会議開催件数

区 分	件 数
科学・技術・自然	91
医 学	38
芸術・文化・教育	23
政治・経済・法律	13
産 業	6
そ の 他	7
計	178

15 国際会議場の主な施設の利用率及び利用人数

(1) 利用率

(単位：%)

区 分	平成27年度	平成28年度
センチュリーホール	87.1	78.7
イベントホール	79.9	79.4
白鳥ホール	78.4	75.8
レセプションホール	83.3	65.4
国際会議室	34.7	23.1

注 利用率 (%) = 利用日数 / 利用可能日数 × 100

(2) 利用人数

(単位：人)

平成27年度	平成28年度
917,861	917,209

1.6 国際会議場の他都市類似施設の概要及び利用人数

(1) 概要

区 分	主な会議ホール		主な展示施設	
	施設名	固定席数	施設名	展示面積
東京国際フォーラム	ホールA	5,012 席	ホールE	5,000 m <sup>2</sup>
パシフィコ横浜	国立大ホール	5,002	展示ホール	20,000
国立京都国際会館	メインホール	1,840	イベントホール	3,000
大阪府立国際会議場	メインホール	2,754	イベントホール	2,600
神戸コンベンションセンター	神戸国際会議場 メインホール	692	神戸国際展示場 1～3号館	13,600
福岡国際会議場・ マリンメッセ福岡	福岡国際会議場 メインホール	1,000	マリンメッセ福岡 多目的展示室等	10,000
名古屋国際会議場	センチュリー ホール	3,012	イベントホール等	2,375

(2) 平成28年度利用人数

(単位：千人)

区 分	人 数
東京国際フォーラム	3,567
パシフィコ横浜	4,320
国立京都国際会館	259
大阪府立国際会議場	1,187
神戸コンベンションセンター	1,202
福岡国際会議場・マリンメッセ福岡	2,257
名古屋国際会議場	917

注1 パシフィコ横浜、神戸コンベンションセンター、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡は展示場の利用人数を含む

2 国立京都国際会館の利用人数は、会議参加者数（暦年）

## 1.7 国際会議場の整備にかかる主な課題及び課題への対応

### (1) 主な課題

- ・施設の老朽化等の対策及び基幹設備の更新
- ・展示スペースの不足
- ・工事にあたり休館が必要

### (2) 課題への対応

- ・事業範囲、事業方式などの事業スキームの整理
- ・利用者・主催者への事前アナウンス

## 1.8 国際会議場屋根付歩廊整備における課題

- ・各種規制にかかる関係者調整及び整備スケジュールの管理
- ・地元との調整
- ・街路樹及び埋設物にかかる技術的な対応

19 芸術文化団体への活動助成

(1) 芸術文化団体活動助成

(単位:円)

区分	団体数	助成額
音 楽	9	731,000
舞 台	4	525,000
舞 踊	1	42,000
美 術	8	588,000
鑑 賞	1	92,000

(2) 文化関係自費出版助成

(単位:円)

区分	団体数	助成額
文 芸	4	545,000
文化研究	3	214,000

20 芸術創造センター及び青少年文化センター練習室の利用率

(単位：%)

区 分		利用率
芸術創造センター	練習室Ⅰ	100.0
	練習室Ⅱ	100.0
青少年文化センター	第1練習室	100.0
	第2練習室	100.0
	第3練習室	100.0
	第1音楽練習室	99.7
	第2音楽練習室	100.0
	第3音楽練習室	100.0

注 利用率 (%) = 利用日数 / 利用可能日数 × 100



2.1 文化小劇場の利用率

(単位：％)

区 分	ホール	練習室
昭和 cultura 小劇場	97.6	100.0
		100.0
名東 cultura 小劇場	96.2	98.1
熱田 cultura 小劇場	93.1	100.0
東 cultura 小劇場	93.0	99.7
緑 cultura 小劇場	90.5	100.0
千種 cultura 小劇場	89.7	100.0
守山 cultura 小劇場	89.1	100.0
天白 cultura 小劇場	86.9	100.0
中川 cultura 小劇場	85.8	100.0
中村 cultura 小劇場	85.7	96.8
西 cultura 小劇場	81.7	99.3
北 cultura 小劇場	77.4	100.0
港 cultura 小劇場	76.6	99.0
瑞穂 cultura 小劇場	76.0	100.0
南 cultura 小劇場	74.1	99.7

注1 利用率(%) = 利用日数 / 利用可能日数 × 100

2 昭和 cultura 小劇場は平成28年12月14日開館

3 昭和 cultura 小劇場練習室の利用率(上段：大練習室、下段：小練習室)

2.2 市民ギャラリー矢田の利用率

(単位：%)

区 分	第1展示室 (256㎡)	第2展示室 (121㎡)	第4展示室 (56㎡)
4月	23.1	57.7	46.2
5月	7.7	73.1	26.9
6月	26.9	53.8	53.8
7月	7.4	55.6	55.6
8月	68.0	92.0	76.0
9月	69.2	84.6	100.0
10月	57.7	100.0	100.0
11月	100.0	100.0	100.0
12月	70.8	91.7	91.7
1月	79.2	95.8	75.0
2月	100.0	100.0	100.0
3月	85.2	100.0	100.0

注 利用率 (%) = 利用日数 / 利用可能日数 × 100

## 23 能楽堂舞台の種目別利用状況

(単位: 件)

区 分	能・狂言	日本舞踊	音楽	演劇	その他	計
4月	11	0	0	0	6	17
5月	11	0	1	0	13	25
6月	11	5	4	0	6	26
7月	18	0	3	0	9	30
8月	11	1	0	0	9	21
9月	16	0	1	5	8	30
10月	8	4	1	0	7	20
11月	14	1	1	0	8	24
12月	9	1	4	10	4	28
1月	10	0	2	0	9	21
2月	8	0	4	1	8	21
3月	8	0	1	5	4	18
計	135	12	22	21	91	281

2.4 名古屋城の管理運営にかかる経費及び収入の推移

(1) 経費

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度
職員の人件費	187,789	194,892
運営管理	334,423	360,172
宵まつり等催物の実施	31,468	37,532
本丸御殿の運営	81,824	103,341
計	635,504	695,937

注 職員の人件費は、整備室分を除く

(2) 収入

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度
使用料	699,208	761,458
名古屋城観覧料	686,890	746,415
その他使用料	12,318	15,043
諸収入等	6,695	6,990
計	705,903	768,448